



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdco.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

定時株主総会開催予定日 2022年6月25日 配当支払開始予定日 2022年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	5,731	8.8	244	5.3	248	8.8	227	64.0
2021年3月期	5,266	7.8	232	352.5	228	281.1	138	256.7

(注) 包括利益 2022年3月期 244百万円 (69.9%) 2021年3月期 143百万円 (36.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	90.92	89.10	36.1	7.7	4.3
2021年3月期	56.92	55.45	32.6	8.2	4.4

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	3,362	789	22.7	304.12
2021年3月期	3,088	518	16.2	204.26

(参考) 自己資本 2022年3月期 762百万円 2021年3月期 498百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	51	123	0	724
2021年3月期	580	177	129	895

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		0.00		0.00	0.00		0.0	0.0
2022年3月期		0.00		5.00	5.00	12	5.5	1.6
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		14.6	

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	9.9	272	11.3	260	4.6	172	24.5	68.62

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.13「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	2,605,642 株	2021年3月期	2,540,642 株
期末自己株式数	2022年3月期	99,200 株	2021年3月期	99,200 株
期中平均株式数	2022年3月期	2,506,086 株	2021年3月期	2,441,442 株

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	4,605	12.7	190	6.9	224	6.3	204	31.5
2021年3月期	4,088	11.3	178		210	883.1	155	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	81.53	79.89
2021年3月期	63.64	61.99

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年3月期	3,051		689		21.7	264.21		
2021年3月期	2,820		457		15.5	179.59		

(参考) 自己資本 2022年3月期 662百万円 2021年3月期 438百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報	17
売上高前年対比等	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用が繰り返される一方で、3回目のワクチン接種が開始されましたが、感染拡大は収まる気配なく、経済活動の正常化には至りませんでした。また、原材料価格の高騰により、食料、エネルギー、物流などあらゆるものの価格が上昇しており、家計への影響が次第に色濃くなるとともに、総じて回復傾向にあった企業業績も冷や水を浴びせられた格好となりました。海外においては、新型コロナ関連規制の解除が進み、企業業績の回復が進む一方で、様々な要因による原材料価格の高騰がインフレを加速させており、世界経済の下振れリスクとして懸念されております。

リユース市場においては、「サステナブル商品」に代表されるように、リユースやリサイクルへのニーズが年々高まるとともに、中古品への抵抗感が薄れる傾向にあり、加えてEコマースや個人間売買にけん引された市場は拡大が続いております。また、近年はショッピングセンターへの出店が、明らかに増加傾向にあります。

ゴルフ用品市場においては、海外ツアーや東京オリンピックにおける日本人選手の活躍もあり、ゴルフ人気は続いているものの、前連結会計年度から見られるコロナ禍による需要は一巡した感があります。また、世界的なゴルフ人気による需要の増加に加え、原材料不足、生産ラインの停止、物流の停滞に代表されるサプライチェーンの混乱などによる品不足も回復に時間を要しております。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、新品クラブ及び用品類販売の年間合計(2021年4月～2022年3月)実績は、全カテゴリーで数量、金額ともに前年実績を上回っており、同データのレポートからは、その中でも新製品クラブの需要が好調で市場をけん引していることと、全てのカテゴリーで販売単価が上昇していることが窺えます。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2022年1月及び2月の利用者数前年同月比*は、ゴルフ場が1月112.5%、2月91.4%、練習場が1月102.5%、2月94.2%となりました。年間を通して見ると、ゴルフ場、練習場ともに、春から初夏にかけては大きく前年実績を上回り、夏以降は勢いが鈍化するものの、前年実績は2ヶ月を除き上回って推移いたしました。*3月分は公表日の都合で記載しておりません。

このような経営環境のなか、当社グループではゴルフ人気を背景に、売上高が2018年3月期以来の過去最高を更新するとともに、前連結会計年度に続いて過去最高益を更新いたしました。また、第二の創業期と位置付けた5年間(2021年3月期～2026年3月期)を対象とする「中期経営計画 Challenge2026」をスタートいたしました。当連結会計年度は、特にゴルフ市場におけるトップシーズンである第1四半期と第3四半期において、前連結会計年度より続くゴルフ人気の風を捉え、順調に業績を積み上げたことで、やや低調に推移した第2四半期と第4四半期を十分に補いました。しかしながら、4月にリニューアルしたECサイト「ゴルフドゥ!オンラインショップ」は伸び悩みが続き、現在も継続的に機能や利便性の向上に努めております。

直営事業においては、前連結会計年度の勢いそのままに、「ゴルフドゥ!」店舗は好スタートを切りました。7、8月は緊急事態宣言等の適用に加えオリンピック観戦により、その勢いはやや落ち着きましたが、10月以降は同宣言等の解除や、天候に恵まれたことで、好調に推移いたしました。しかしながら、2、3月はコロナ禍に伴うゴルフ需要にも鈍化の傾向が強まり、加えて気温が低く推移したことで、思うように業績を伸ばすことができませんでした。また、前々連結会計年度からの粗利益率向上効果も次第に薄れて行きましたが、前連結会計年度より直営店に転換した九州地方の6店舗は安定した業績で推移いたしました。なお、当連結会計年度の「ゴルフドゥ!」直営店の売上高前年増減率は、全店ベース15.0%増、既存店ベース5.2%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ!」直営店と同様に好スタートを切りましたが、7月以降は総じて苦戦が続きました。店舗を取り巻く環境は直営店と大差ありませんが、1店舗当たりの中古クラブの在庫量の差が、直営店との業績の差となって現れた感があります。なお、当連結会計年度の「ゴルフドゥ!」フランチャイズ店の売上高前年増減率は、全店ベース3.2%減、既存店ベース3.9%増となりました。

当連結会計年度における「ゴルフドゥ!」は、フランチャイズ店として11月に「甲府バイパス店」、3月に「白山松任店」が新規オープンし、2022年3月31日現在の店舗数は、直営23店舗、フランチャイズ51店舗で合計74店舗、当連結会計年度の売上高前年増減率は、全店ベース4.1%増、既存店ベース4.5%増となりました。

営業販売事業においては、前連結会計年度同様に米国輸入品の欠品や納期遅れが一年を通して続き、業績の回復には至りませんでした。国内ECモールに出店している「GOLF J-WINGS」は、月によって波はあるものの、米国輸入品の優先投入効果もあり、年間合計では売上高、営業利益ともに前年実績を上回りました。

アパレル事業においては、8、9、2および3月を除き、他の8ヶ月は売上高、営業利益ともに前年同月実績を上回り、且つ黒字となりました。新型コロナウイルス感染者数の増減が客数に比例しており、ひいては業績にも影響を及ぼしております。なお、2019年4月に事業を開始して以来、通期では初めて黒字となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は売上高57億31百万円(前連結会計年度比8.8%増)、営業利益2億44百万円(同5.3%増)、経常利益2億48百万円(同8.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億27百万円(同64.0%増)となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(直営事業)

当連結会計年度における直営事業の売上高は40億99百万円（前連結会計年度売上高は36億36百万円）、セグメント利益は3億79百万円（前連結会計年度セグメント利益は3億42百万円）となりました。

(フランチャイズ事業)

当連結会計年度におけるフランチャイズ事業の売上高は5億10百万円（前連結会計年度売上高は4億64百万円）、セグメント利益は1億47百万円（前連結会計年度セグメント利益は1億56百万円）となりました。

(営業販売事業)

当連結会計年度における営業販売事業の売上高は11億48百万円（前連結会計年度売上高は11億97百万円）、セグメント利益は37百万円（前連結会計年度セグメント利益は21百万円）となりました。

(アパレル事業)

当連結会計年度におけるアパレル事業の売上高は49百万円（前連結会計年度売上高は45百万円）、セグメント利益は2百万円（前連結会計年度セグメント損失は4百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億73百万円の増加となり、33億62百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億46百万円の増加となり、26億2百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億70百万円減少、売掛金が44百万円、商品が3億33百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円の増加となり、7億58百万円となりました。これは主に有形固定資産が39百万円減少、無形固定資産が83百万円増加したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円の増加となり、25億72百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円の減少となり、17億72百万円となりました。これは主に買掛金が1億31百万円増加、未払法人税等が95百万円、その他流動負債に含まれる未払消費税等が47百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4百万円の増加となり、8億円となりました。これは主に社債が20百万円減少、長期借入金が20百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億71百万円の増加となり、7億89百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億27百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は22.7%（前連結会計年度末は16.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による支出、投資活動による支出及び財務活動による支出の結果、7億24百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、棚卸資産の増加、仕入債務の増加、法人税等の支払等により、51百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、ネット事業プログラム等の資産の取得による支出等により、1億23百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出等により、0百万円の支出となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
自己資本比率 (%)	12.6	12.7	14.2	16.2	22.7
時価ベースの 自己資本比率 (%)	55.9	30.5	25.3	34.6	28.3
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年) *	16.2	9.2	115.0	2.6	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) *	12.0	18.6	0.9	35.8	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

* 2022年3月期は、有利子負債はありますがキャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大が依然として続く中、サプライチェーンの混乱や地政学的リスクなどによる、世界的なインフレが経済の重しとなっており、国内においては過度な円安や物価上昇によって、企業収益の圧迫や個人消費の低迷が懸念されます。

リユース市場においては、世界的な循環社会や環境保護への関心の高まりにより、リユースへのニーズは一層高まることが予想され、当面はリユース市場への追い風は途切れることなく吹き続けるものと思われま

す。ゴルフ用品市場においては、新品クラブの供給状況が未だ回復しておらず、当面は一部商品において供給不足が続くものと推測されます。また、コロナ禍に伴うゴルフ需要は一巡していると思われ、今後は新規ゴルファーを確実に取込むことに重点が置かれることになるものと思われま

す。当社におきましては、2021年度よりスタートした「中期経営計画 Challenge2026」の強化項目を中心に進めてまいります。その中でも、「EC戦略の強化」では、2021年4月にリニューアルして以来、低空飛行が続いているECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」を一刻も早くデジタル化の潮流に乗せるべく、早期回復に努めてまいります。「ゴルフドゥ！店舗網の充実 100店舗体制」では、FC店を中心に出店を進めてまいります。「ゴルフドゥ！事業の海外展開」では、新型コロナウイルス感染状況を計りつつ、リサーチなどを進めてまいります。「新規事業の開発」では、2022年4月に新業態「ゴルフドゥ！NEXT」の1号店がオープンしており、早期に軌道に乗せるとともに、秋以降の2号店出店を見据えてまいります。

以上の結果、翌連結会計年度（2023年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高6,300百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益272百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益260百万円（前年同期比4.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益172百万円（前年同期比24.5%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	895,242	724,617
売掛金	377,700	421,932
商品	1,016,869	1,350,776
短期貸付金	9,372	9,561
未収還付法人税等	—	32,095
その他	58,764	65,276
貸倒引当金	△1,252	△1,360
流動資産合計	2,356,697	2,602,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	490,261	489,535
減価償却累計額及び減損損失累計額	△268,355	△303,218
建物及び構築物 (純額)	221,905	186,316
工具、器具及び備品	350,809	339,943
減価償却累計額及び減損損失累計額	△321,814	△316,958
工具、器具及び備品 (純額)	28,994	22,984
建設仮勘定	5,053	6,956
有形固定資産合計	255,953	216,257
無形固定資産		
ソフトウェア	95,977	186,190
のれん	29,660	22,694
その他	923	923
無形固定資産合計	126,562	209,808
投資その他の資産		
投資有価証券	13,913	13,510
長期貸付金	318,421	57,757
敷金及び保証金	172,707	179,920
繰延税金資産	37,886	40,258
その他	59,096	43,875
貸倒引当金	△253,698	△2,595
投資その他の資産合計	348,326	332,725
固定資産合計	730,842	758,792
繰延資産		
社債発行費	1,064	652
繰延資産合計	1,064	652
資産合計	3,088,603	3,362,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	387,708	519,379
短期借入金	805,500	800,560
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	179,571	179,024
未払法人税等	96,063	735
賞与引当金	49,533	39,699
ポイント引当金	39,000	33,313
株主優待引当金	8,414	10,857
資産除去債務	—	2,800
その他	188,475	165,842
流動負債合計	1,774,267	1,772,212
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	488,295	509,271
退職給付に係る負債	143,281	145,911
資産除去債務	82,065	80,379
その他	42,492	44,800
固定負債合計	796,134	800,362
負債合計	2,570,401	2,572,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,120	515,838
資本剰余金	159,523	169,240
利益剰余金	△103,688	124,171
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	463,747	711,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,338	△1,741
為替換算調整勘定	36,276	52,957
その他の包括利益累計額合計	34,938	51,215
新株予約権	19,516	27,511
純資産合計	518,201	789,769
負債純資産合計	3,088,603	3,362,344

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	5,266,364	5,731,039
売上原価	3,236,741	3,520,364
売上総利益	2,029,622	2,210,674
販売費及び一般管理費	1,797,431	1,966,191
営業利益	232,191	244,482
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,173	2,744
受取手数料	4,999	4,976
為替差益	—	1,268
助成金収入	3,497	4,421
その他	1,745	4,638
営業外収益合計	13,416	18,049
営業外費用		
支払利息	16,192	13,051
為替差損	166	—
その他	813	967
営業外費用合計	17,172	14,019
経常利益	228,435	248,513
特別利益		
債務免除益	—	4,495
特別利益合計	—	4,495
特別損失		
固定資産除却損	—	4,170
減損損失	22,142	13,979
店舗閉鎖損失	—	1,200
特別損失合計	22,142	19,349
税金等調整前当期純利益	206,293	233,658
法人税、住民税及び事業税	89,186	7,828
法人税等調整額	△21,854	△2,029
法人税等合計	67,332	5,798
当期純利益	138,961	227,860
親会社株主に帰属する当期純利益	138,961	227,860

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	138,961	227,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,939	△403
為替換算調整勘定	2,797	16,680
その他の包括利益	4,736	16,277
包括利益	143,697	244,137
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	143,697	244,137
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	506,120	159,523	△242,650	△98,208	324,786
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			138,961		138,961
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	138,961	—	138,961
当期末残高	506,120	159,523	△103,688	△98,208	463,747

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△3,277	33,479	30,201	146	355,133
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					138,961
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,939	2,797	4,736	19,370	24,106
当期変動額合計	1,939	2,797	4,736	19,370	163,067
当期末残高	△1,338	36,276	34,938	19,516	518,201

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	506,120	159,523	△103,688	△98,208	463,747
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	9,717	9,717			19,435
親会社株主に帰属する当期純利益			227,860		227,860
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	9,717	9,717	227,860	—	247,295
当期末残高	515,838	169,240	124,171	△98,208	711,042

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△1,338	36,276	34,938	19,516	518,201
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					19,435
親会社株主に帰属する当期純利益					227,860
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△403	16,680	16,277	7,995	24,272
当期変動額合計	△403	16,680	16,277	7,995	271,567
当期末残高	△1,741	52,957	51,215	27,511	789,769

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	206,293	233,658
減価償却費	56,398	74,730
のれん償却額	3,835	6,966
長期前払費用償却額	3,252	1,730
株式報酬費用	19,370	26,995
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	114	107
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,527	△10,190
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	701	△5,687
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,630	2,442
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,646	2,630
受取利息及び受取配当金	△3,173	△2,744
支払利息	16,192	13,051
減損損失	22,142	13,979
固定資産除却損	—	4,170
債務免除益	—	△4,495
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,207	△28,855
棚卸資産の増減額 (△は増加)	84,969	△322,909
仕入債務の増減額 (△は減少)	91,078	117,718
未払金の増減額 (△は減少)	16,511	8,264
未払費用の増減額 (△は減少)	11,168	2,522
未払消費税等の増減額 (△は減少)	35,983	△47,623
その他	12,435	△11,351
小計	605,610	75,111
利息及び配当金の受取額	3,173	2,744
利息の支払額	△16,518	△12,522
法人税等の支払額	△11,910	△117,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,355	△51,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,750	△13,146
無形固定資産の取得による支出	△23,065	△125,730
貸付金の回収による収入	9,012	10,667
敷金及び保証金の回収による収入	5,260	274
敷金及び保証金の差入による支出	△612	△7,390
建設協力金の回収による収入	11,827	12,069
事業譲渡による収入	8,000	—
事業譲受による支出	△171,460	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,789	△123,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,743	△573
長期借入れによる収入	340,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△194,108	△179,571
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
その他	—	66
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,635	△78
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,695	4,391
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	534,897	△170,625
現金及び現金同等物の期首残高	360,345	895,242
現金及び現金同等物の期末残高	895,242	724,617

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより以下のとおり変更しております。

売上時に付与したポイントについては、従来は付与したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、付与したポイントは顧客に対する履行義務と認識し、契約負債を計上し、顧客がポイントを値引として使用したときに売上高に振り替えております。

なお、当社では買取時及び入会時等にもポイントを付与している為、売上時以外に付与したポイントに関しては、従来通りのポイント引当金として計上しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、この結果、当連結会計年度の売上高が47,615千円減少し、販売費及び一般管理費は49,026千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ1,410千円増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。この変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に各事業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした販売・サービス別のセグメントから構成されており、「直営事業」、「フランチャイズ事業」、「営業販売事業」及び「アパレル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「直営事業」は、中古ゴルフクラブの小売り及び買取りを中心とするゴルフリユースショップ「ゴルフ・ドゥ！」の直営店舗運営並びにECサイト「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」及び「ゴルフウェアユーズド」の運営、「フランチャイズ事業」は、「ゴルフ・ドゥ！」のフランチャイズチェーン本部運営、「営業販売事業」は、ゴルフ用品の卸売り及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」の運営、「アパレル事業」は、アパレルの小売りチェーン「シューラルー」のフランチャイズ店舗運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,636,846	452,944	1,130,763	45,809	5,266,364	—	—	5,266,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,770	66,249	—	78,020	3,664	△81,684	—
計	3,636,846	464,714	1,197,013	45,809	5,344,384	3,664	△81,684	5,266,364
セグメント利益又は損失(△)	342,974	156,033	21,104	△4,227	515,886	114	△283,808	232,191
セグメント資産	1,382,787	200,419	362,221	14,301	1,959,730	—	1,128,873	3,088,603
その他の項目								
減価償却費	30,902	9,063	3,480	3,488	46,933	—	9,464	56,398
のれんの償却額	3,835	—	—	—	3,835	—	—	3,835
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	89,987	16,912	3,838	—	110,738	—	3,111	113,849

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
(1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,099,344	499,003	1,083,089	49,601	5,731,039	—	5,731,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,340	65,368	—	76,708	△76,708	—
計	4,099,344	510,343	1,148,458	49,601	5,807,747	△76,708	5,731,039
セグメント利益	379,879	147,587	37,434	2,416	567,317	△322,834	244,482
セグメント資産	1,557,012	277,674	514,676	15,757	2,365,121	997,222	3,362,344
その他の項目							
減価償却費	29,641	31,552	3,624	58	64,877	9,852	74,730
のれんの償却額	6,966	—	—	—	6,966	—	6,966
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	46,082	87,245	283	176	133,788	6,969	140,757

- (注) 1. 調整額は以下のとおりであります。
(1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
減損損失	—	—	—	22,142	22,142

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
減損損失	13,979	—	—	—	13,979

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	3,835	—	—	—	3,835
当期末残高	29,660	—	—	—	29,660

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	6,966	—	—	—	6,966
当期末残高	22,694	—	—	—	22,694

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産	204.26円	304.12円
1株当たり当期純利益	56.92円	90.92円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	55.45円	89.10円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	138,961	227,860
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	138,961	227,860
普通株式の期中平均株式数(株)	2,441,442	2,506,086
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	64,814	51,345
(うち新株予約権(株))	(64,814)	(51,345)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	2021年5月20日開催の取締役会 決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 1,705個 (普通株式 170,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上高前年対比等

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2022年1月	2022年2月	2022年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
ゴルフドゥ！ 全店	102.3%	94.4%	97.0%	98.0%	104.1%
ゴルフドゥ！ 既存店	101.1%	93.2%	96.1%	96.8%	104.5%
直営店 全店	101.8%	95.8%	96.3%	98.1%	115.0%
直営店 既存店	101.8%	95.8%	97.7%	98.6%	105.2%
F C店 全店	102.8%	93.4%	97.5%	97.9%	96.8%
F C店 既存店	100.4%	91.1%	94.8%	95.4%	103.9%

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2022年1月	2022年2月	2022年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
売上高前年対比	81.0%	76.0%	82.9%	80.1%	77.8%
アクセス数前年対比	80.7%	80.3%	83.4%	81.4%	90.0%
会員数（合計）					363千人
会員数前年増加率					5.8%

(注) 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。